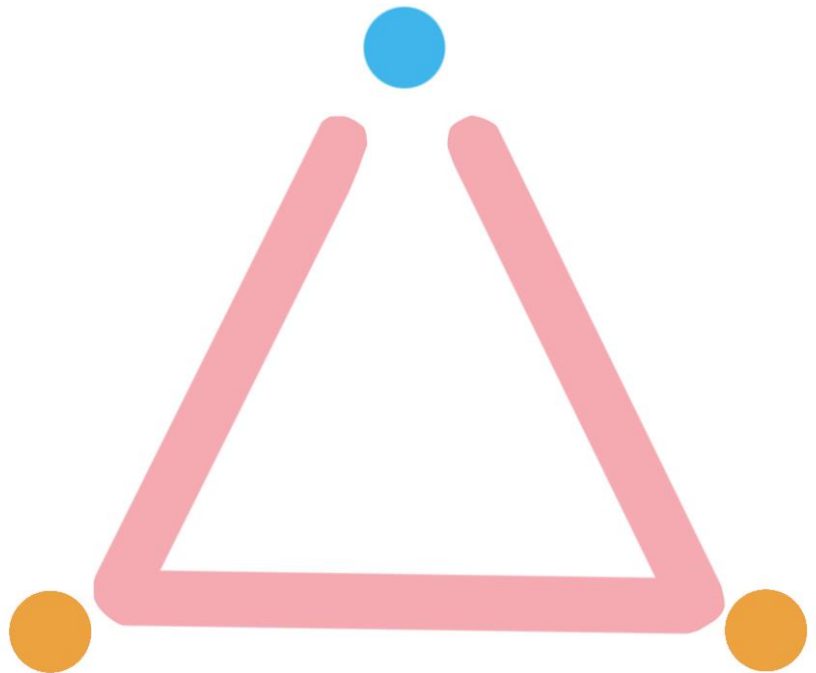
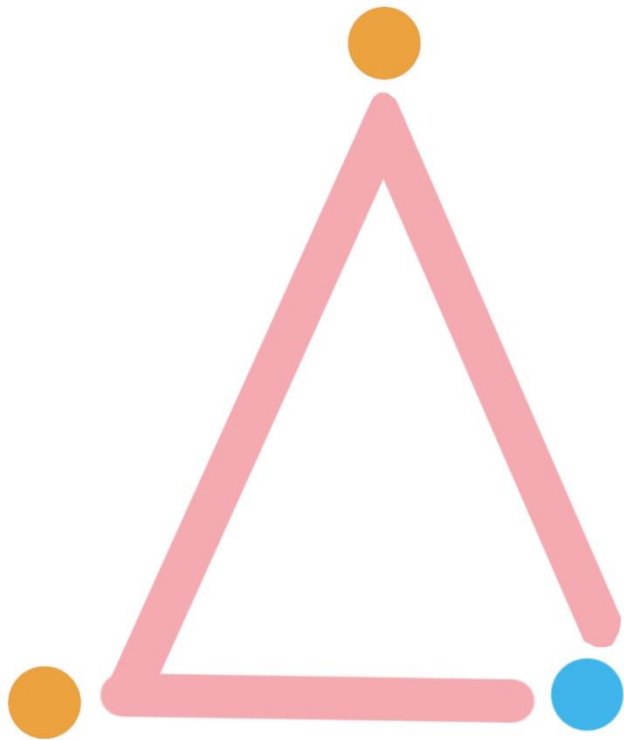


ファミリー・トライアングル

—いのちを伴奏するケアのかたち—

米沢 慧





いのちの物語に参加する



ファミリー トライアングル

高齢化社会を
超えて

神山睦美＋
米沢慧

高齢化社会って何？

血縁、地縁を超えて、トライアングル(三角形)で
ささえ合う21世紀の新しい家族像を
体験をこめて模索する会心作!

春秋社
文庫 2369円(税別) 2300円

『ファミリー トライアングル』
(春秋社 1995)

還りのいのち を支える

老親を介護、看取り、見送るといこと

米沢 慧

発行
主婦の友社

いのちには行き(成長期)と還り(老衰期)の二つの相がある。
老いは「還りの人生」、
老人介護は「還りの医療(幸せに死ぬ)」という視点から、
いのちが共鳴する、支えあう関係を
わたしたちは
どのようにつくれるだろうか？

『「還りのいのち」を支える』
(主婦の友社 2001)

ホスピス というカ ピス

いのち
死のケアとはなにか

米沢 慧

日本にホスピスが誕生して20年 ホスピスは成人となりえたのか

ホスピスの誕生から現在までの歩みを検証し、
その可能性を探り、ひいては理想的な医療のあり方も模索する。
ホスピスケアの本質に深く言及した根源的なホスピス考察論!!

日本医療企画

『ホスピスというカ』
(日本医療企画 2002)

I ファミリー・トライアングル (Family Triangle)

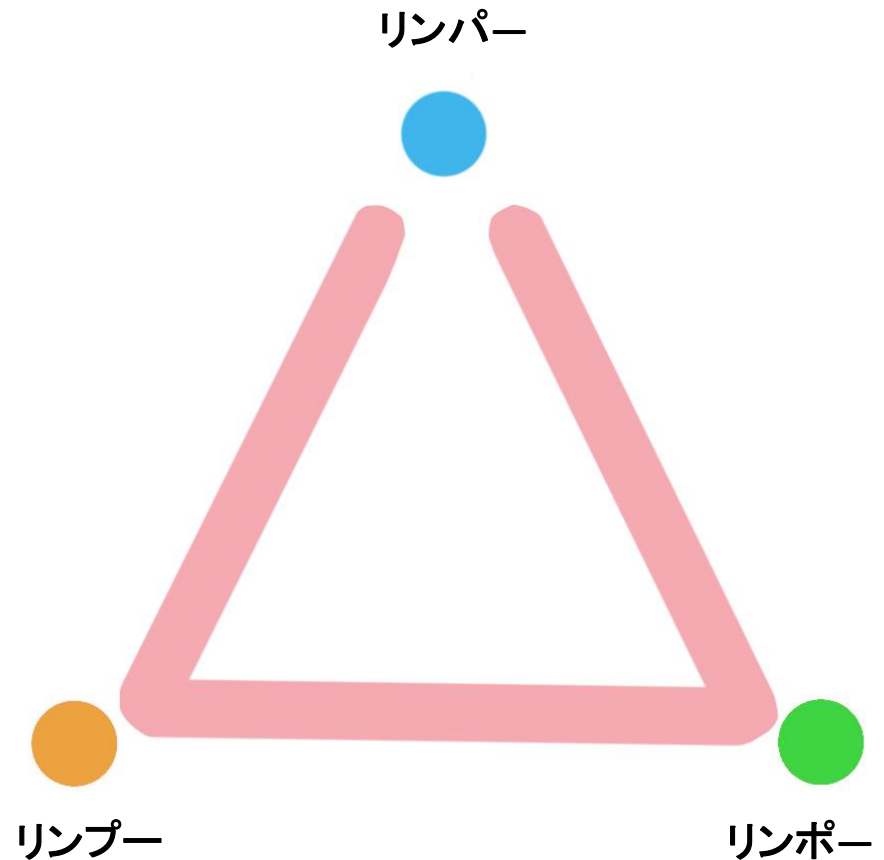
F.T-① 原型・構図

●賢治の世界 いのちへの共感

(ヒト-動物-植物の同位性)

むかしラユーという首都に、兄弟三人の医者がいた。

いちばん上のリンパーは普通の人
の医者。弟のリンプーは、馬や羊の
医者。いちばん末のリンポーは 草
だの木だの医者。兄弟三人は、街
のいちばん南にあたる、黄色い崖の
とっばなに青い瓦の病院を三つなら
べて建てていた。
(宮澤賢治 『北守将軍と3人兄弟の
医者』より)



F.T-② 構図A

3人目の力 3番目の位置

三つ目の役割 三つ目の仕事

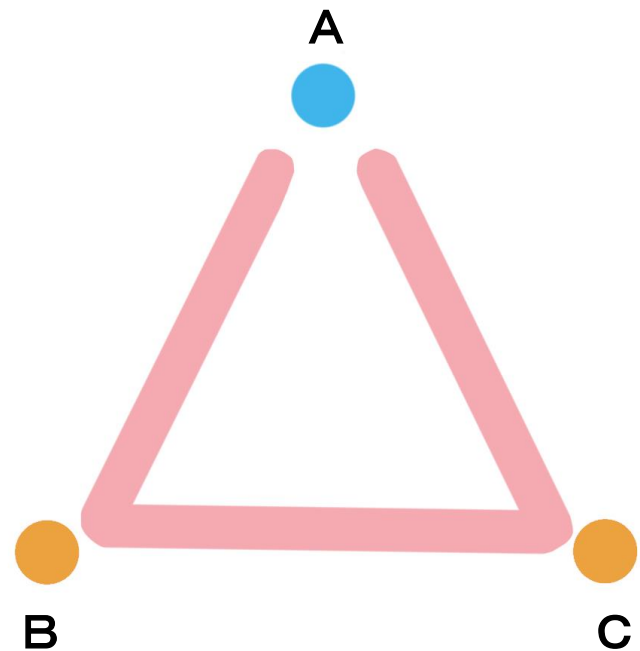
※内角 多角形の隣り合っている2辺が多角形の内部につくる角。

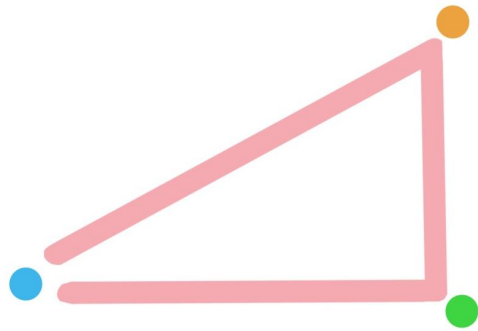
※三角形の和=2直角(180度)。n角形の和(2n-4)直角

△ABC—頂角Aは底辺BCに対応している。

※絆や関係を結ぶ「辺」から、
「辺」をつなぎ・ひらくかたち

※3人目、3番目のポジションCが機能したとき、
「支える—和む」関係になる





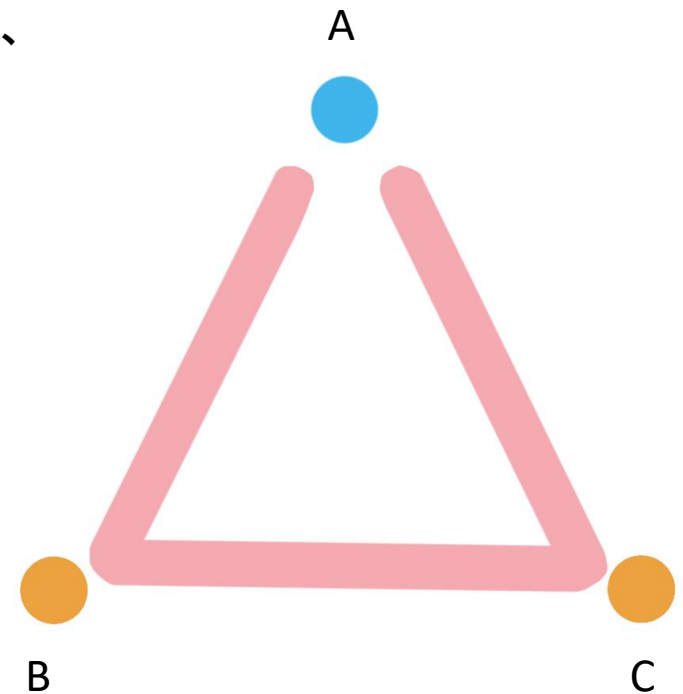
トライアングル(陣形をつくる)

コーチング (声をかける)

アイコンタクト(目で合図する)

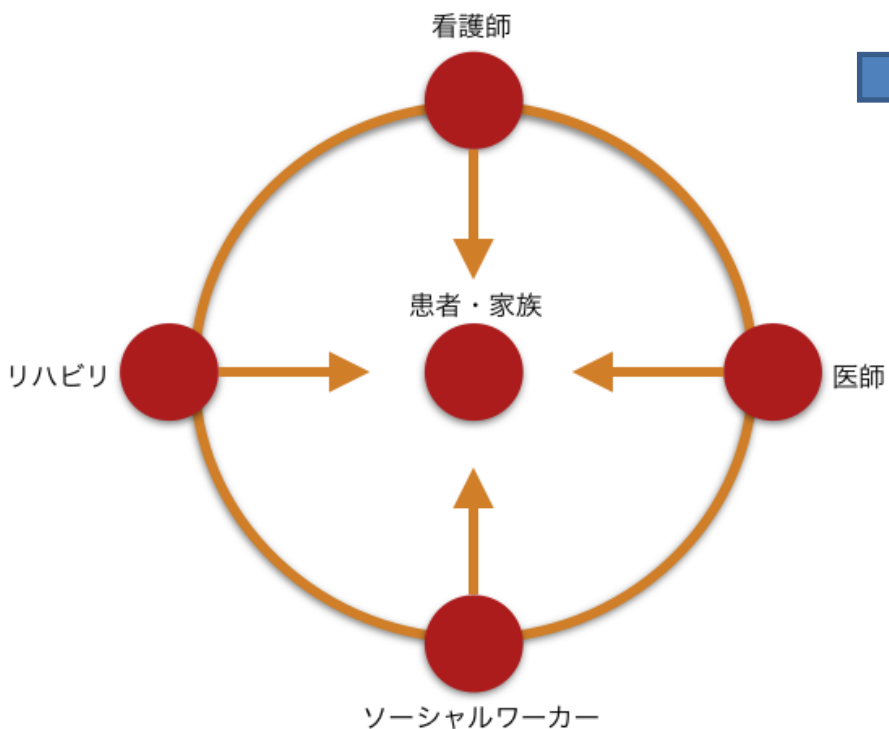
- ①事態を受け入れなければならないのはA自身なので、他のB、Cがかかわってあげることはできない。
- ②それにもかかわらず、Aの苦しみや恐れをB、Cは体験的に共有することはできる。
- ③ABCが「共にいる」ことに根ざした、共感のコミュニケーションのうえに、支えあいは成り立つ。

(森岡正博『「ささえあい」の人間学』 法蔵館)

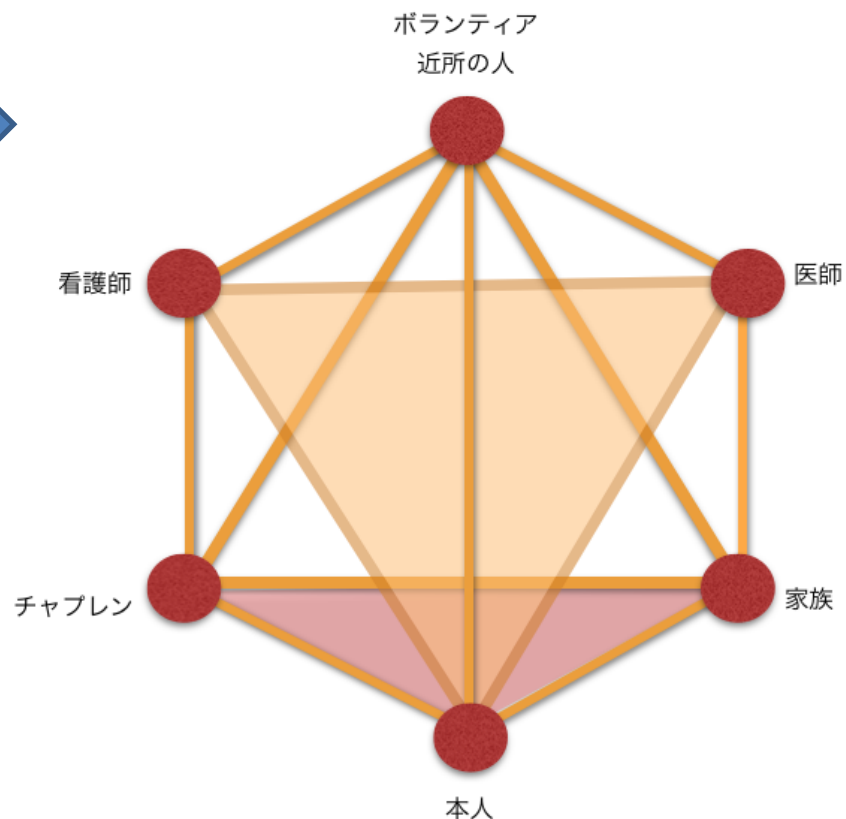


F.T-③ 構図B

FTの概念図 医療看護からホスピスケアへ



お世話するのは私たちです



「共にある」という親密な空間

Ⅱ ワークショップ F.Tという力

Ⅱ F.T-①

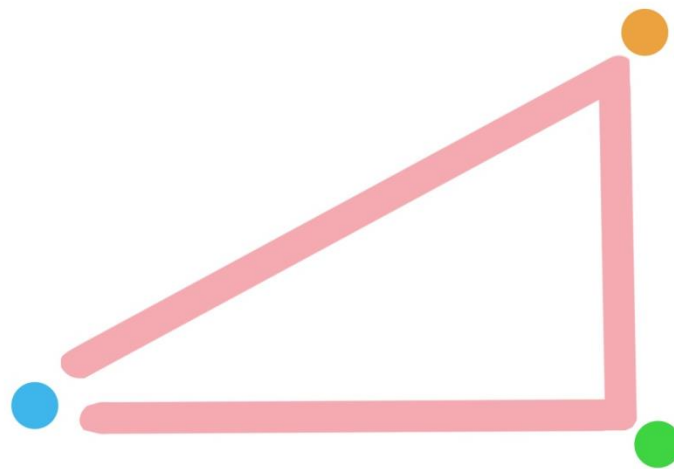
わたしが40歳で自動車免許を取得した理由



(ヨネザワ君)

義母・義父

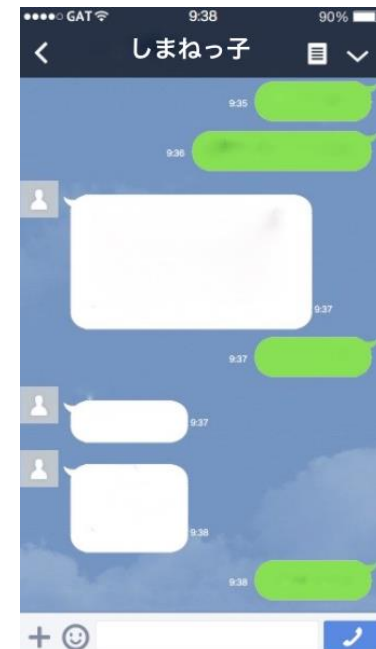
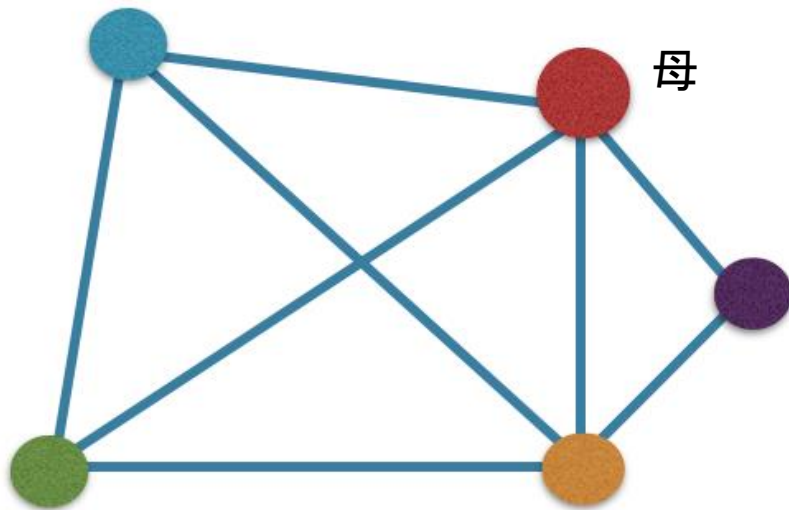
娘



Ⅱ F.T-②

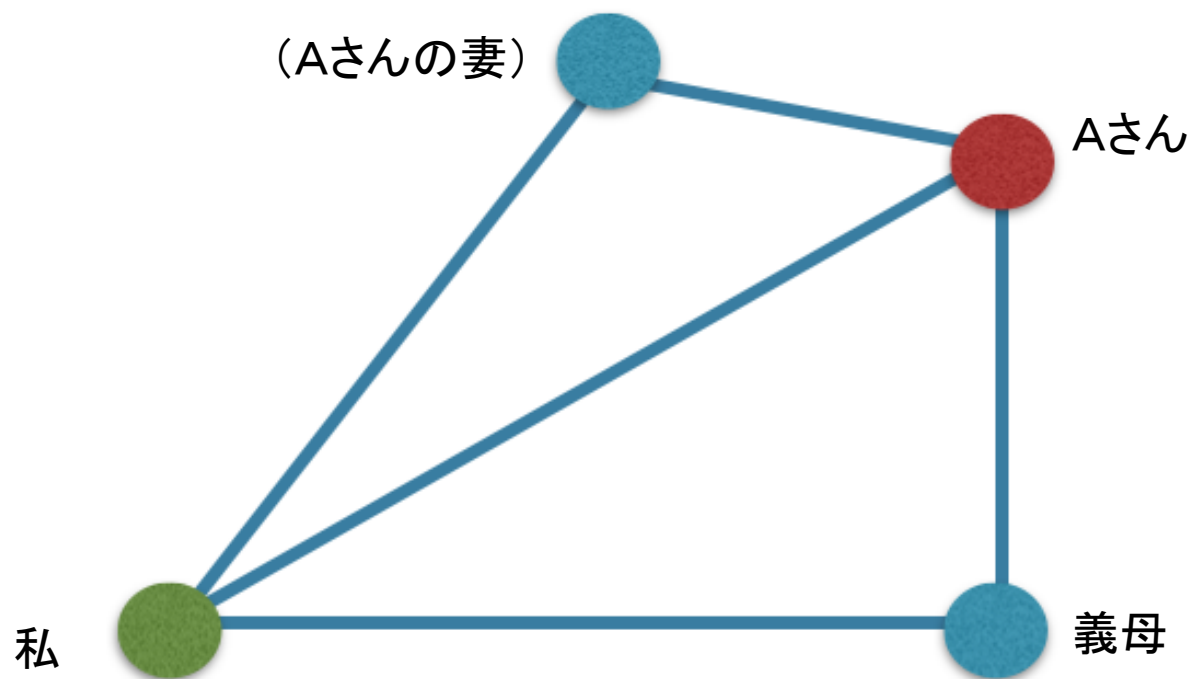
3人目の支え 遠距離の老母を支える

△長男(75歳)ー長女(71歳)ー次女(66歳)
母(94歳)ー孫(ナース)ー次女
母ー次女ー長男
母ー次女ー長女



Ⅱ F.T-③

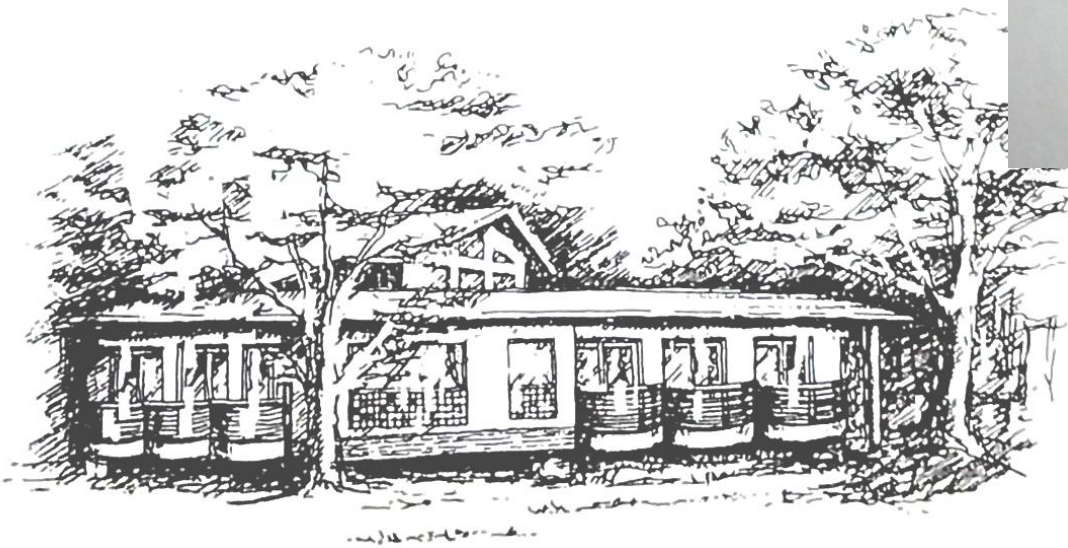
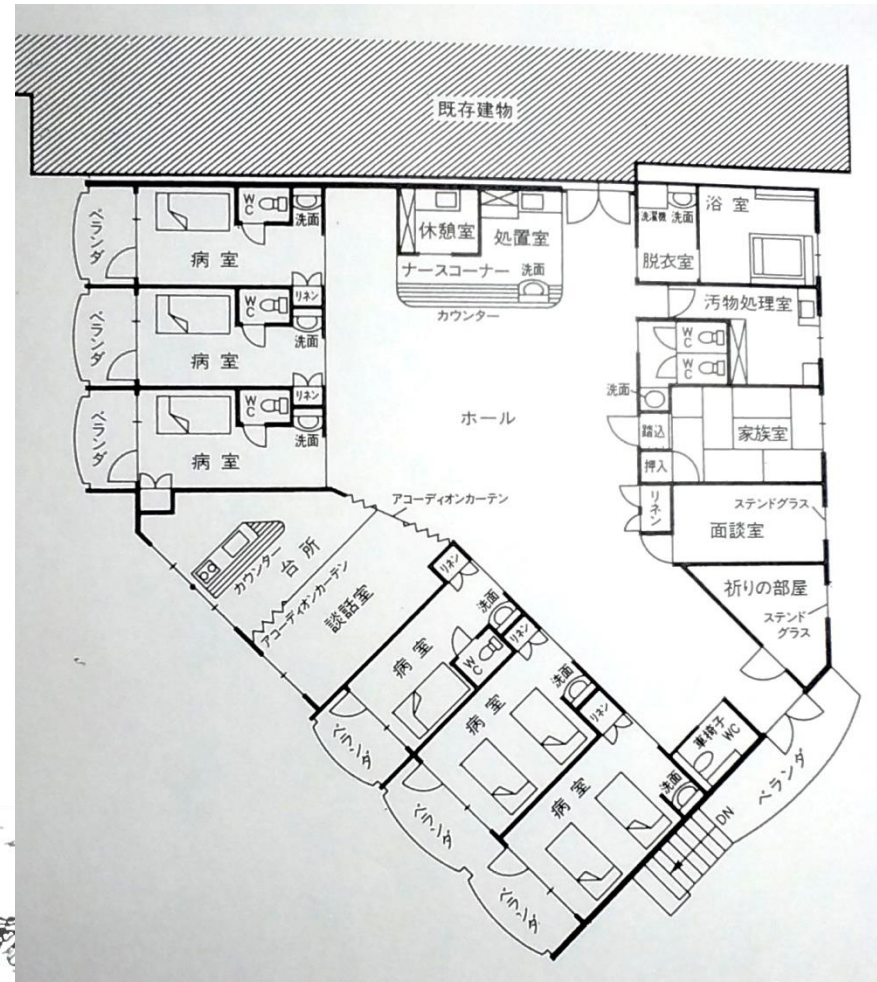
深夜の義母のまちがい電話から 3人目の役割



II F.T-④ 仲良し時間 ホスピスボランティアの例

長野県 新生病院ホスピスにて

- ①G線上のエリア(バッハ)
- ②カノン(パッフェルベル)
- ③アレグロ・ジョコーソ(ヘンデル)



Ⅱ F.T-⑤

救急医療室で 一ポジションニング

逝く人(患者)ー看取る人(家族)ー見送る人(医師)

救急病院でのトライアングル

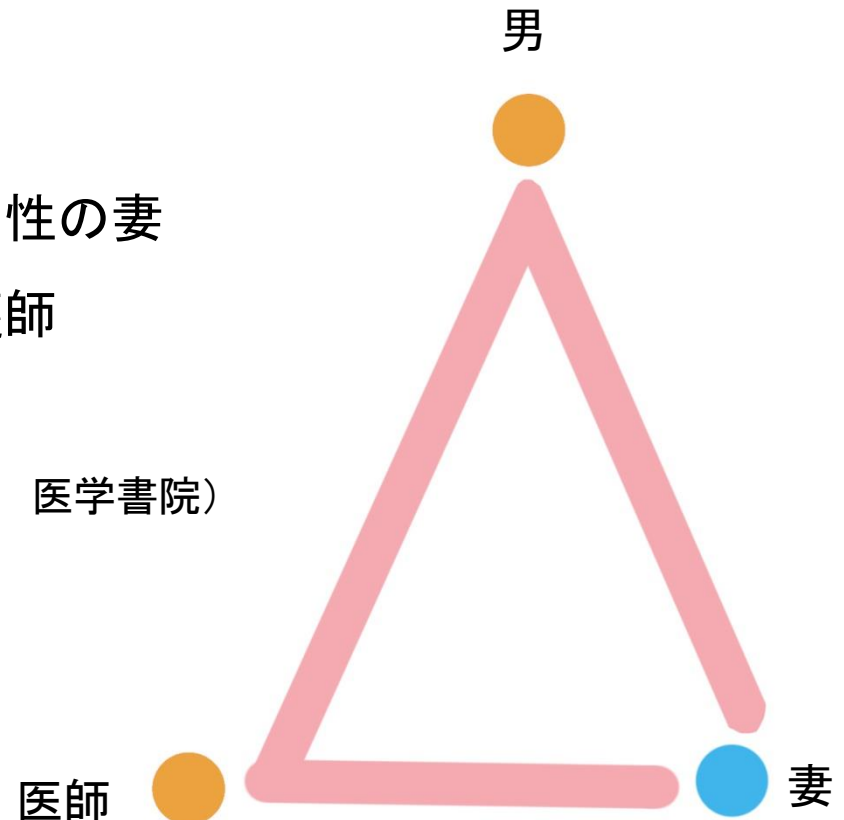
・心肺停止の男性(80歳代)夜間外来。

△男性患者-医師(心臓マッサージ)-男性の妻

△男性患者-妻(心臓マッサージ)-看護師

△男性患者-男性に語る妻-医師

(「地域医療と暮らしのゆくえ」高山義浩 医学書院)

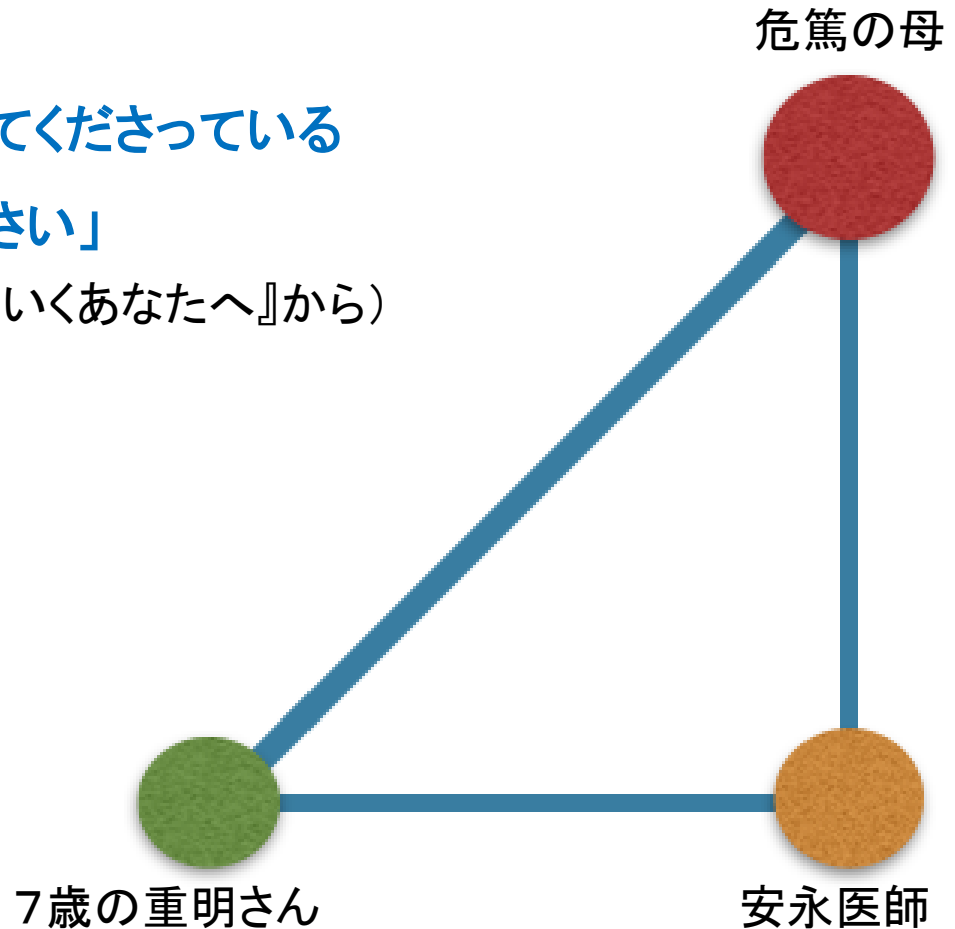


II F.T-⑥

生きていくあなたへ ー 日野原重明さん、7歳の祈り

「どうか神様、母を救おうとくださっている
この安永先生を助けてください」

(『生きていくあなたへ』から)



「三方よし」と「かけはし」

つなぐ

A 「在宅介護・お世話宅配便」
(佐賀県唐津市 吉井栄子)

△介護サービスとしての「三方よし」

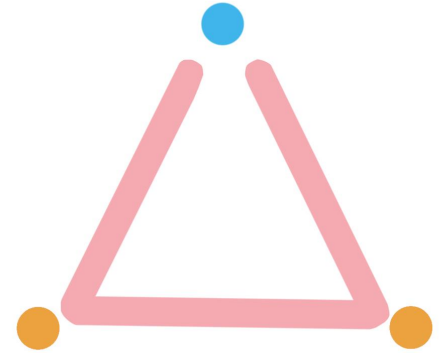


B 「介護タクシー かけはし」(愛知県豊橋市 山田和男)
△自宅-病院-施設 病院-施設-自宅



「トライアングル」には中心がない

- ・トライアングルとは、医師や看護師が患者の〈いのち〉の物語に参加するかたち。



- ・いのちの物語に参加するとは、患者と家族の関係に3番目の存在・役割として加わること。

- ・大切なのはキーパーソンとポジショニング。

→ トライアングルが目指しているのは
〈いのち〉の共鳴なのである。

F.Tという力 ● 「世話あない」という親和力

いのちを考える
いのちから考えるセミナー 〈1〉

いのちを受けとめる かたち — 身寄りになること

米沢 慧



〈認知症 — 言葉でくくられていくいのち。〉

高齢長寿社会に出現したもう一つのいのちのステージ。
対峙せざるをえないもう一つのいのちのかたち。
いま、私たちはその受けとめ方を問われている。

私たちは皆、産み落とされた。
寄る辺なき無垢のいのちを受けとめた手がそこにあった。

いのちの深さを問い続ける米沢慧の「いのちのセミナー」ライブ版
木星舎 定価 1,200 円 + 税

市民ホスピス への道

山崎章郎
二ノ坂保喜
米沢 慧

〈いのちの
受けとめ手になること



いま、
いのちは
医療から
市民の手へ。

もはや病院で死ぬことが
難しいといわれる時代に、
終末期のいのちは
病院から「市民」の中へ、
そしていのちの担い手の主体は
「市民」へと移ろうとしている。
先駆者が20年以上の実績をふまえ
辿り着いた「市民ホスピス」。
多死・高齢社会に
希望と新たな可能性をひらく。

春秋社
定価(本体1800円+税)